

短期人間ドックなどの補助のお知らせ

薩摩川内市国民健康保険および後期高齢者医療制度に加入している方の健康増進および健康維持のため短期人間ドックなどの補助を行っていますので、ご利用ください。

また、検査結果によっては、保健師による保健指導をさせていただきます。

■対象者

薩摩川内市国民健康保険および後期高齢者医療制度加入者

ただし、前年度までの国民健康保険税および後期高齢者医療保険料が完納されている方

- 利用券申請に必要なもの
- ① 国民健康保険被保険者証 または後期高齢者医療被保険者証
 - ② 印鑑(スタンプ印は除く)
 - ③ 契約医療機関からの通知書など

■補助対象ドックの種類

- ・一日ドック
 - ・一泊二日ドック
 - ・女性ドック
 - ・脳ドック(40歳以上)
 - ・がんドック(PET検査)
- *「がんドック」には補助人数に制限(国保 30人、後期高齢 20人)がありますので、事前に保険年金課に電話などでご確認ください。

■利用回数

年度内1回の利用となります。

*複数のドックを受けることはできません。

*「がんドック」については2年連続での受診はできません。



予約から検査までの手順

- ① 下記表の医療機関に電話などで受診希望ドックの予約をします。
 - ② 本庁保険年金課および各支所市民生活課で利用券の申請をします。
 - ③ 利用当日、医療機関に利用券を提出します。
- *「がんドック」受診希望の場合のみ、①医療機関への予約前に保険年金課へ連絡してください。

種類	医療機関	電話番号	検査料	補助金	自己負担金		
一日ドック	川内市医師会立市民病院	(22)1111	36,750円	25,000円	11,750円		
	済生会川内病院	(23)5221					
	薩摩郡医師会病院	(53)0326					
	JA鹿児島県厚生連健康管理センター	099(256)1133	44,680円		19,680円		
	鹿児島県民総合保健センター	099(220)2332	37,642円		12,642円		
	里診療所	(3)2023	32,000円		7,000円		
	上甕診療所	(2)0010					
	下甕手打診療所	(7)0031					
	おやまクリニック	(22)1101					
	丸田病院	(32)2263	40,000円		15,000円		
花牟禮病院	(32)3281	30,000円	5,000円				
花牟禮病院	(32)3281	32,900円	7,900円				
一泊二日ドック	済生会川内病院	(23)5221	63,000円	40,000円	23,000円		
	鹿児島県民総合保健センター	099(220)2332					
	花牟禮病院	(32)3281					
女性ドック	済生会川内病院	(23)5221	47,250円	30,000円	17,250円		
	JA鹿児島県厚生連健康管理センター	099(256)1133				51,834円	21,834円
	鹿児島県民総合保健センター	099(220)2332				47,842円	17,842円
	花牟禮病院	(32)3281				40,360円	10,360円
脳ドック	川内市医師会立市民病院	(22)1111	36,750円	28,000円	8,750円		
	森園病院	(23)3125					
	いちき串木野市医師会立脳神経外科センター	(32)9999					
がんドック	厚地記念クリニック	099(226)8871	PETドック100,000円	50,000円	50,000円		
	南風病院	099(226)9111	PET/CTドック120,000円		70,000円		
			115,000円		65,000円		

温泉保養のご案内

薩摩川内市国民健康保険および後期高齢者医療制度に加入している方について、温泉保養利用助成制度があります。詳細については、本庁保険年金課および各支所市民生活課にお問い合わせください。



COPD(慢性閉塞性肺疾患)を知っていますか?

肺の機能が低下し、呼吸困難を招くCOPD(慢性閉塞性肺疾患)という病気を知っていますか。

中高年層に多く、最近ではこの病気にかかり、死亡する人が増えています。

本市の平成22年度死因別死亡状況を見ると、1年間で34人の方が亡くなっています。

年齢とともに呼吸機能は低下しますが、左記のような症状が続く場合は、疾患の疑いもあるため、注意が必要です。

こんな症状が続く人は要注意!

坂道や階段の上り下りで息切れするようになったり、少し

- の動作で息切れがする。
- せきやたんが多く、なかなか治まらない。
 - 口をすぼめて息をするようになった。

こんな病気です

気管支が狭くなる「気道病変タイプ(従来の慢性気管支炎)」と酸素を取り込む肺胞が壊れてしまう「気腫タイプ(従来の肺気腫)」の2タイプがあります。



ちょっとした動作で息切れがしたり、せきやたんが毎日続くというのが特徴で、ゆっくりと悪化するので年齢のせいとして見過ごされてしまいがちです。

治療しないまま放置すると、どんどん悪化していき、呼吸が苦しくなるなど、全身にさまざまな影響が出て、命にかかわることになりかねません。

最大の原因はたばこです

主な原因は、空気中の有害物質を吸い込むことです。なかでも最大の原因は喫煙で、発症原因の8~9割を占めています。特に10年以上喫煙を続けている人、1日にたばこを何十本も吸

うヘビースモーカーはさらにリスクが高くなるといわれています。また喫煙者本人だけでなく、非喫煙者が吸い込む受動喫煙も大変危険です。



今からでも遅くない!禁煙で予防しよう!

COPDは一度進行すると完全に治ることはありません。壊れてしまった肺胞は元には戻らないからです。この病気を防ぐには、たばこをやめることが何より重要です。

禁煙週間

5月31日~6月6日



世界禁煙デー

5月31日



【問合せ】=市民健康課健康指導グループ(川内保健センター内) ☎(22)8811

【問合せ】=本庁保険年金課国保グループ・高齢者医療グループ ☎(23)5111(内線2841・2831)